

(3) 決めたことをやり続けるには

これには、家族の生活のスケジュールを、みんなで相談して作ることから始まります。家庭の行事、学校の諸活動・地域の行事、習い事、友人との遊び、来客の予定など、考えられることをすべて組み入れてみます。

子どもの意見もいれて、無理のないスケジュール表をつくり、家族のみんなが見えるところに張り出します。

この作業は始めはお母さんがやって、手順が分かってくればお子さんとの当番制にしていくと、参加意欲が一層増してきます。学習は、なんと言っても今通学している学校の家庭学習が第一となります。予習、復習、学校からの課題、レポートの調査や資料集めなど、毎日、なにかがあります。その上で日本語学習の予定を立てます。

補習授業校の課題は、子供だけではできません。必ず親が子どもの勉強の場において、疑問への答えや調べ方などを助けてやってください。何曜日にやるか、何分やるかなどは、親と子供の生活に合わせて決められます。決めた以上は必ず実行するように努めましょう。

Bさんは、3人の子供と土曜日の夜8時から決めました。この日であれば授業を終わったばかりなので、学習内容も覚えています。また、作業的な課題も余裕を持って取り掛かれます。この時間帯は夫婦も出来るだけ一緒にいるように努めました。子どもたちは帰国後も、この時間が家族がひとつになって頑張った、貴重な時間だったと述懐しているそうです。

通信教育は、初めの1ヶ月は学年に関係なしに、親が学習の援助をしてやり、学習方法を身につけさせてやる必要があります。Aさんのように、親が前もって内容を見ておけば、助言も効果的にできます。通信添削の提出は、子どものやったものをそのまま提出してください。間違えても、出来ないところがあってもそのままです。財団の赤ペン先生は学年持ち上がりですので、子どもとの間に添削を通して親近感が湧いてきます。そのためにも、お子さんのあるがままの学力を知っていただく方が良いでしょう。

また、JOBAの通信教育プログラムは、長期休暇時(一時帰国をした場合)のスクーリングと組み合わせることによって、通信教育にありがちな、お互いの顔が見えないことから来る継続の難しさをぐっと軽減することができるようです。

具体的な学習内容面からみても、1年に1~2度、あるまとまった期間のスクーリングによって家庭学習での漏れの確認や弱点補強が直接指導してもらえるので効果的です。さらに他の海外生徒のふれあいなどを通して本人のモチベーションを向上させるには非常に効果的なプログラムということができるでしょう。

塾や家庭教師について勉強する場合も、親が学習の進み具合や、子どもの理解度を把握することが大切です。先生との連絡を定期的にとって、親の学習への関わり方をはっきりさせとくと、子どもは安心して学習ができます。

なお、生活表の見直しは毎月が望ましいですね。お子さんの生活や考えを知るのにも良い機会になります。

(4) 家庭生活で日本語力を身に付ける工夫

滞在国では周りの人がその国の言葉を使っていますので、外国人である私たちも、生活をしていくために一生懸命に学び、身に付くようになります。生活が広がれば自然に語彙も増えていきます。

ところが、日本語は、家族や少数しかいない日本人との間でしか使われません。特別な手立てをしなければ、滞在年数が長くなるにつれ、日本語力は衰えてきます。そこで、親御さんの工夫が必要になってくるのです。どんな方法でも子どもたちにとって、日本語を使う時間が楽しくなければ、学ぶ意欲が萎えてしまいます。日常生活の中で夫婦、親子、兄弟の会話が楽しく心の通い合う嬉しい時間であれば、きっと日本語も、親の意図する方法で、喜んで学ぶにちがひありません。

海外での家庭生活の中で、日本語力を伸ばさせていった事例は無数にありますが、帰国された方より好評だった事例を順次ご紹介していきます。

① Aさん家族の行った家族俳句会

Aさんのお父さんは、俳句を作ることは子ども自身が表現したい感情や情景に、ぴったりの語彙を調べて身につけていく最高の方法だと考えました。

日本の短歌や俳句は短詩形で、昔から日本人になじみ深いものです。百人一首のように国民的な遊びになっていたり、名句は多くの人に語り継がれています。「古池や蛙とびこむ水の音」などは小学生にさえも知られています。特に俳句は5,7,5という17文字の中に、情景や感動を詠みこんでいくのですから、幼いほど欲しい語句の持ち合わせがありません。必要に迫られて、辞書や歳時記のページを繰ることになります。

国内にいるのとは違って、海外では初めての見聞や経験が多く、感動する場面もしばしば訪れます。それだけに、子どもの感性も研ぎ澄まされ、親や先生を驚かすような作品が生まれます。いくつかご紹介しましょう。

「地球に学ぶ」海外子女文芸作品コンクールより

カウベルが 聞こえてきたよ もう春だ スイス 郷田未来
すいか売り 右も左も すいか売り 中国 杉本直樹
クレムリン ゆきがつもれば ゆきのしろ ロシア 村上仁美
雪合戦 白組一方的勝利 ドイツ 榊原 魁

俳句会が成功するのは、親が苦手でも、上手くできなくても発句を楽しむことです。家族の句集が出来ますと、皆さんの発句意欲も大いにたかまりますよ。

海外・帰国子女教育専門機関 JOBA

〒145-0064 東京都大田区上池台3-39-9
Tel:03-5754-2240 Fax:03-5754-2241
<http://www.jolnet.com/>



海外・帰国子女教育の大先輩、張江先生の登場です。

先生の経験に裏打ちされた、海外の子どもに、日本語(日本文化)をどのように身に付けさせればいいのか、その方法や考え方のアドバイスを連載していただく予定です。

そのアドバイスは、海外で英語と日本語で学んでいる子ども達と保護者の皆様に本当に必要だと、私は心から信じています。ご期待ください。